

## 平成19年度実施事業 事業評価シート

<b>事業名:</b> 浜益生涯学習講座開催事業	5-8
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他) 複数回答可	1
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)	1

担当部課	生涯学習部浜益生涯学習課	直通電話	79-2114
担当部長	飯尾 徹	担当課長	新井 春生
		担当者	宮 一作

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	高齢者対象事業(生きがいづくり学園) ピヨピヨ広場in浜益		
(2)事業開始年度	不明	(3)事業終了年度	未定
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	5 心豊かに学びいきいきと活動するまち	
	施策項目(大)	(1)生涯学習の推進	
	施策項目(小)	学習機会の整備充実	
	施策コード	50102	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	だれもが自由に学習機会を選択しながら、生涯にわたって学び続けられる環境を整え、自己実現を図りながら充実した人生を送ることができるようにする。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	できるだけ多くの市民に、「生涯学習講座」に参加してもらう。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	学習情報、講座情報の提供と活動の支援
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	従来型の社会教育の場の提供ではなく、自主的、自発的な市民参加型の講座開設が望まれる社会状況にある。
(6)事業の立案や実施における協働の視点	市民団体と共に企画・運営を行なっている。

3 事業に投入した行政資源				
区 分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)	0	104	104	120
(2)その他の間接経費(千円)	0	0	0	0
(3)従事正職員の人件費(千円)	0	6,628	7,177	/
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	0	6,732	7,281	/
事務に従事した正職員延べ人数	0.00	0.80	0.80	/

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)											
収	区 分	H17	H18	H19	H20予算	支	区 分	H17	H18	H19	H20予算
入	市補助金等(A)					出					
	計(B)	0	0	0	0		計	0	0	0	0
	(A/B)										

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活 動 指 標 名		H17	H18	H19	H20
講座数(生きがいづくり学園)	目標値		6	6	6
	実績値		6	6	/
	達成率		100.0	100.0	/
講座数(ピヨピヨ広場in浜益)	目標値		3	3	/
	実績値		3	3	/
	達成率		100.0	100.0	/
	目標値				/
	実績値				/
	達成率				/

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
参加者人数(生きがいづくり学園)	目標値		360	350	350
	実績値		335	312	
	達成率		93.1	89.1	
参加者人数(ピヨピヨ広場in浜益)	目標値		30	30	
	実績値		15	15	
	達成率		50.0	50.0	
	目標値				
	実績値				
	達成率				

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。		
(1) 必要性		(4) 有効性		
ア 市民ニーズ 社会経済情勢の変化に対する市民ニーズはどうか	1 大きい	2	ア 施策との関連 事業の成果と施策の成果とに関連があるか	
	2 普通			1
イ 市の関与 その事業に市が関与する必要があるかどうか	3 小さい	2	イ 成果 事業の成果は目標を達成しているか	
	1 行政にしかできない			2
ウ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、今の事業内容は適当か	2 民間等でもできる	2	ウ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、今の事業内容は適当か	
	3 民間等でやるべき			2
(2) 効率性		(1)~(4)の評価ポイント合計		
ア コスト削減 コスト削減は可能か	1 不可能である	2	総合評価の参考に使ってください。	
	2 難しい		2	7~11
(3) 公平性	3 可能である	2		12~15
	ア 受益者負担 さらなる受益者負担は可能か		1 不可能である	13
2 難しい		2		
3 可能である	2			

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		高齢化が進行し独居老人世帯もあり、浜益区内での居住の意識も顕著なことから継続して本事業を実施する必要がある。しかし、ピヨピヨ広場in浜益については少子化で参加者が限られていることから、平成19年度をもって事業を廃止する。(対象者:20数名 参加者:5~6名)	
C	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
	(2) 今後の方向性・課題	生きがいづくり学園事業については市民との協働により、同事業を更に進化させながら今後も継続して実施する。	
(3) 平成21年度の方向性			
事業規模	*:担当課長	事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
休・廃止			

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見	

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		講座への参加数も概ね前年並みであり、地域性も踏まえ、「生きがいづくり学園事業」については、今後とも事業の継続が必要である。	
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
	(2) 今後の方向性・課題	地域ニーズを適確に把握し、講座内容や取組み方法についての検討が必要である。	
(3) 平成21年度の方向性			
事業規模	:担当部長(もしくは市長)	事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
休・廃止			